

萩原良昭

## 女って、鋭いなあ

すべらにや、損、損。  
何度もこける。

そのたびに、こわごわ、手すりにもたれかける高田はんが笑う。

まあ、ええ、かっこじゃないが、

後ろすべりなど、いろいろ、挑戦。

健ちゃんは僕よりずっと上手。  
すごい勢いで、すべりまくっている。

「高田はんも、もっと、真ん中に出て、滑りいなあー。」  
と、無理やり、高田はんの手を取り、皆が滑る中に、

引きずり出した。

高田はんは、今度はまっ青な顔で、  
本当に、半泣き。

「高田はん、大きいのに、かっこ悪いで、  
もつと勇気だしなあ。」と、僕は強気。  
「ちゃんと手を持って上げるから」と、  
その気もないのに、真ん中で手を放すつもりで、  
引きずり出した。

出したは良かったが、そのまま、くつつかれて、  
なかなか、僕の手を放さない。  
そのまま、二周、三周と滑る。  
慣れたぶん、どんどん、早くすべり、